

さくらの公園護岸工事完了

平成18年12月11日から開始した「さくらの公園護岸工事」が、完了しました。この工事は、さくらの公園奥にある漕艇場観覧席がある護岸の両端が、貯水位の変動（さくら湖の水の増減）等により浸食（削られて）され、放っておくと護岸が壊れる危険が生じたため、浸食を防ぐために行われたものです。工事を行うには、貯水位を下げる（さくら湖の水を減らす）必要があり、工事は雨が少ない時期に行うほうが安全ということで、11月から着工しました。工事期間中は貯水池の水位を洪水期の維持水位である制限水位（318m）より2m程度低下し施工しておりましたが、工事を完了し2月中には水位を上げ始め、3月末には非洪水期の維持水位である常時満水位（326m）に達する見込みです。この間、さくら湖に訪れた方々や利水者の方々、地域の住民の方々の工事へのご理解、ご協力の程感謝申し上げます。



工事前



さくらの公園護岸工事現場



工事状況

撮影 平成19年1月18日



工事状況

撮影 平成19年2月1日

本川前ダム 堆積土砂撤去完了

平成19年1月15日から柴原にある「本川前ダム」の堆積土砂撤去工事を開始しましたが、2月末に工事が完了しました。本川前ダムとは、上流から流れてくる川を堰き止めることによって、水の流れを遅くし、川の水に多く含まれる植物プランクトンの栄養となる窒素やリンが付着した土砂を沈殿させて、栄養の少なくなった水をさくら湖に入れるはたらきをしています。毎年掘削工事は行っていますが、今年は前ダムに土砂が溜まって本来の機能が損なわれることを考慮し、溜まった土砂を取り除く工事をしました。溜まっている土砂は、非常に細かい砂で、少し水を含むだけでドロドロになってしまい、機械どころか人も沈んでしまうようなところで、工事を行うのは非常に困難な現場でしたが、幸い今年は粗い砂（普段見慣れている砂）も多くあり、その砂を使用しながら掘削を始めました。途中、掘削する機械（バックホウ）や運搬する車（クローラダンプ）が、ぬかるみにはまってしまい苦労することもありましたが、施工された方々の頑張りによって、約11,000m³の土砂を取ることが出来ました。この工事により、さくら湖の水質が悪化するのを防ぎ、さくら湖の水を利用している方々が、少しでも安全できれいな水を利用できるようになれば良いと思います。今回工事を行っている間、さくら湖の水が一部で濁る時もありましたが、これから先、少しでもきれいな水になるよう工事を行ったためであり、ご理解のうえ御容赦頂きたいと思えます。これからも、さくら湖の水を悪化させないためのダム管理を行っていきたいと思えます。工事期間中は、地域の方々にはご迷惑をお掛けしましたが、無事土砂撤去が完了しました。皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。



本川前ダム 土砂撤去工前

撮影 平成18年9月19日



土砂乾燥中

撮影 平成18年11月1日



土砂撤去作業状況

撮影 平成19年1月30日

三春だるま市

三春町は、毎年元旦に西方地区（三春ダム直下）で行われる「水掛祭り」で新しい年が始まります。この水掛祭りは、五穀豊穡・無病息災・子孫繁栄などの祈りを込めて行われています。（詳しくは、さくら湖管理ニュースNO. 43をご覧ください。）

そして、三春町の新年の行事がもう一つ。約300年の伝統を誇る「三春だるま市」です。毎年、1月の第三日曜に行われ、今年は1月21日に開催されました。三春だるまは、郡山市西田町の高柴デコ屋敷で作られ「高柴だるま」とも呼ばれています。今年は天候にも恵まれ春を思わせる暖かい日差しの中、三春町大町その



名も「おまつり道路」において、高柴だるまや三春張子など約70軒の露天が並び、家内安全や商売繁盛など福をもとめる大勢の買い物客で賑わいました。会場では、三春太鼓やチャリティーもちつき大会、高柴デコ屋敷のみなさんによるひょっとこ祝い踊りなどが披露されました。また、古くなった三春だるまの回収も行われていました。

三春だるま (高柴だるま)の特徴

顔の部分が平たく、彫りの深い赤身を帯びた顔つきをしています。また、厄を払うために両目が見開いている（最初から両目が入っている）のが特徴となっています。



早春のさくら湖

暖かい日差しが降り注ぎ、早くも春の気配を感じるようになりました。貯水池内から堤体直下流に移植した福寿草は去年より1ヵ月も早く1月下旬には今にも咲きそうなくらいにつぼみを膨らませ、さくら湖周辺では、かわいらしいネコヤナギの花穂が風にそよんでいます。



ネコヤナギ

撮影場所
蛇石前貯水池



撮影場所
三春ダム堤体

福寿草

不法投棄は やめましょう!



先日、大変残念なことに貯水池周辺に洗濯機の投げ捨てを発見しました。貯水池周辺は、危険や不法投棄等を監視するため、定期的に巡視を行い防犯カメラを設置しています。「不法投棄かな?」と思ったら三春ダム管理所（Tel.0247-62-3145）までご連絡ください。



警告!
不法投棄は法律で罰せられます。



ミチちゃん＆んくんの

なぜ?なに?さくら湖



Q. 三春ダムのかげを見たら石を積み重ねたように見えますが、どうして?

A. 三春ダムは、周辺地域の歴史や文化を活かした景観づくりを行いました。三春ダムが建設された三春町は、城下町として栄え、三春小学校近くのお城山にはかつて「舞鶴城」が築かれていました。堤体の石を積み重ねたような模様は、城下町のお城の石垣をイメージして造られました。また、堤体上のゲートハウス（ゲート操作室）や管理所・資料館の色

や形など施設全体を統一し、歴史の里三春をイメージし、周辺との調和を図った設計となっています。

（ちなみに、独眼竜正宗で有名な伊達正宗の正室「愛姫」は、三春城から仙台藩伊達家へ嫁ぎました。愛姫は、三春町の歴史を語る上で最も有名な女性といえるでしょう。）



本当だ！
石の模様が
ついてるね。



自然観察ステーションからのお知らせ

< 星を見る会 >

- ・3月 9日(金) 雨天等中止
月や冬の星雲・星団の観察
 - ・3月17日(土) 雨天決行
簡易プラネタリウムによる学習会
 - ・3月23日(金) 雨天等中止
冬の星雲・星団の観察
- 参加料 大人 200円
 子供 100円

・・・お問合せは・・・



さくら湖自然観察ステーション 0247-61-1546
三春交流館まほら 0247-62-3837

三春ダム資料館からのお知らせ

すずらんの花

パッチワーク・キルト展 開催中

期間 2月27日(火)～3月25日(日)



つるし飾やタペストリーなど37点を展示しております。温もりのある作品をご覧ください。



俳句ポスト 作品紹介



柔らかな
湖面の色の
うす緑
三春に遅き
春と告げるも

さくら湖に
風こころよく
ふきのとう

初春に
水面輝く
三春ダム

1月の作品です



編集後記

今、資料館で展示中のパッチワークやつるし飾を見ていると、蝶や金魚・犬・ねずみなど、どの作品も表情豊かで見ているうちに顔がほころみ毎日癒されています。今は仕事と子育てに追われ忙しい毎日ですが、わたしも何か趣味にぼっとうしたいなあと考えながら作品を眺めています。そして、いつの日か自分が作った作品で誰かを感動させることができたら幸せです。

石井

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>